

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	812 英語指導助手(ALT)活用事業	会計	01	一般会計
基本 施策	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
		項	01	教育総務費
		目	03	義務教育振興費
施策	2 国際化や情報化等の時代に合った教育の推進	細目	102	児童生徒指導経費
		細々目	03	英語指導助手招へい経費
基本計画該当頁		126	行革大綱の重点事項番号	
担当部課	コード	450300	評価者	7
名称	教育部 学校教育課	氏名	古城正美	連絡先
				22 - 9676 (内線) 3820

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市内小中学校児童生徒 (※対象件数 児童生徒7658人)	子どもたちがネイティブな英語に触れることにより、英語に関心を持つことができ、諸外国の文化に興味を持つようになり、小中学校における英語教育及び国際理解教育を充実させることとなります。そして、自分の進路につなげて考えるようになります。
事業目的 1. 中学校のALT(英語指導助手)として、アメリカから1人、カナダから1人、イギリスから1人、オーストラリアから1人を招へい。計4人のALTが、11中学校において英語科をはじめ各校の教育活動に参画しました。 2. 小学校へALTとしてアメリカから2名を招へい。25小学校における英語活動を支援しました。	
状況変化等 中学校の英語科授業において、ALTを活用することで、本場の英語に触れることはもちろん、ALTの母国である世界各国について広く学習することができています。小学校においては、英語活動として、総合的な学習の時間等にALTによる指導を行い、身近な英語を理解することや言葉や文化に興味や関心を深めることができています。小学校では5・6年生で英語学習が新学習指導要領の移行措置期間に入りました。それにもない、英語学習を支援していく環境整備の必要性が増してきています。	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値				目標値	
		H19		H20		H21	H22
中学校ALT配置数	人	目標	5	目標	4	4	4
		実績	5	実績	4		
小学校ALT配置数	人	目標	1	目標	1	2	2
		実績	1	実績	1		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
中学校1クラスの英語授業に入るALTの時間数	英語科の授業において、チームティーチングの形をとる。その時間数を指標としている。	時間	目標 30 実績 30	目標 35 実績 10	35	35
小学校1クラスの英語授業に入るALTの時間数	英語の学習において、チームティーチングの形をとる。その時間数を指標としている。	時間	目標 5 実績 4	目標 4 実績 4	18	18

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	中学校においては、キャリア教育の一端としても週に2回程度のALTによる学習支援を保障しなければなりません。また、新学習指導要領では、小学校で週1回の英語の学習が導入され、5・6年生は2週に1回程度のALTによる英語活動の機会を保障しています。そのために、1人増員する必要があります。
有効性	3	ALT(外国語指導助手)1人が、2~4校の中学校を担当して英語指導の支援を行っています。小学校へは、年間を通じて1校あたり2週間に一度程度訪問して、英語活動の支援を行っています。小学校英語が導入されるにあたり、定期的に訪問する体制を整備し、生きた英語を学ぶことができています。
達成度	4	市内11中学校においては、4人のALTが担当を決めて巡回することで、それぞれの中学生が「生きた英語に触れる」ことができています。小学校のALTは、1名増員で2名になりました。このことにより、各学校でより効率性のあるALTの活用を考え、平成23年からの本格実施に向けた準備を進めています。
効率性	3	1人の小学校担当ALTで市内の小学校25校を巡回していたのを、新学習指導要領の移行措置で、小学校における英語の学習を推進するため、1名増員で2名になりました。小学校5・6年生が身近な英語を理解することや言葉や文化に興味や関心を深めるために費用対効果は大きいと考えられます。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	平成21年度、2名の小学校英語活動指導助手を配置することができました。平成23年からの本格実施に向けて、英語指導助手と担任の連携を深め、より良き英語活動の実践を進めていきます。

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容								
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額				
	委託	外国語指導助手給料	5	人	18,054	外国語指導助手給料	5	人	16,116	外国語指導助手給料	4	人	15,096	外国語指導助手給料	4	人	15,096	外国語指導助手給料	4	人	15,096	外国語指導助手給料	4	人	15,096
		外国語指導助手共済費	5	人	2,104	外国語指導助手共済費	5	人	1,967	外国語指導助手共済費	4	人	1,829	外国語指導助手共済費	4	人	1,829	外国語指導助手共済費	4	人	1,829	外国語指導助手共済費	4	人	1,829
		国際理解外国語指導助手委託料	1	人	4,222	国際理解外国語指導助手委託料	1	人	4,127	国際理解外国語指導助手委託料	2	人	9,450	国際理解外国語指導助手委託料	2	人	9,450	国際理解外国語指導助手委託料	2	人	9,450	国際理解外国語指導助手委託料	2	人	9,450
	工事	住宅借上げ料	5	人	3,203	住宅借上げ料	5	人	2,821	住宅借上げ料	4	人	2,598	住宅借上げ料	4	人	2,598	住宅借上げ料	4	人	2,598	住宅借上げ料	4	人	2,598
		旅費			1,084	旅費			1,705	旅費			1,066	旅費			1,066	旅費			1,066	旅費			1,066
		その他事務経費			702	その他事務経費			449	その他事務経費			502	その他事務経費			502	その他事務経費			502	その他事務経費			502
	進捗率(%)	事業費計(A)	Σ		29,369	事業費計(A)	Σ		27,185	事業費計(A)	Σ		30,541	事業費計(A)	Σ		30,541	事業費計(A)	Σ		30,541	事業費計(A)	Σ		30,541
	事業投入人員	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160
	フルコスト(A)+(B)				31,529				29,345				32,701				32,701				32,701				32,701

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	29,369	27,185	30,541	30,541	30,541	30,541
Aの財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	受益者負担						
	その他	1,601	1,406	1,350	1,350	1,350	1,350
	一般財源	27,768	25,779	29,191	29,191	29,191	29,191
	計	29,369	27,185	30,541	30,541	30,541	30,541
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率	その他財源1,601千円は、ALT住宅賃借料本人負担金	その他財源1,406千円は、ALT住宅賃借料本人負担金	その他財源1,406千円は、ALT住宅賃借料本人負担金	その他財源1,350千円は、ALT住宅賃借料本人負担金	その他財源1,350千円は、ALT住宅賃借料本人負担金	その他財源1,350千円は、ALT住宅賃借料本人負担金
	地方債の区分と充当率等						